

# がん患者さんの在宅緩和ケア支援について



## 緩和ケアとは\*

緩和ケアとは、重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくケア（特定非営利活動法人日本緩和医療学会による『市民に向けた緩和ケアの説明文』）とされています。

がん患者さんや家族は、がんと診断されたとき、治療の経過、あるいは再発や転移がわかったときなどのさまざまな場面でつらさやストレスを感じます。

緩和ケアでは患者さんと家族が自分らしく過ごせるように、医学的な側面に限らず、いろいろな場面で幅広い対応をしていきます。

※：国立がん研究センター がん対策情報センターHPより引用



## 在宅で受ける緩和ケア

緩和ケアは、入院や外来通院だけではなく、さまざまなサービスを利用しながら、在宅で受けることができます。

在宅で受けられるサービスには、訪問診療（かかりつけ医）、訪問看護（看護師）、訪問薬剤管理指導（薬剤師）、訪問介護（ホームヘルパー）、訪問リハビリテーション（理学療法士など）などがあります。また医療保険、介護保険を使うことができます。医師や訪問看護師、ケアマネジャー（介護支援専門員）と相談しながら、希望する場所で過ごすことができるように支援していきます。



## 在宅療養を希望される場合は

病院での治療が終わって在宅療養を希望する場合は、病院の地域連携部門の医療ソーシャルワーカーや、看護師にご相談ください。通院中の場合は、かかりつけ医へ相談しましょう。

介護保険サービスを受けたい場合は、お住まいを管轄する地域包括支援センターへ、既にケアマネジャーが決まっている場合は、担当のケアマネジャーへ相談してみましょう。

